

公開講座に行きましょう

清水 実穂

本を読んでもさっぱり意味がわからなかったけど、専門家の話を聞いたら素晴らしくよくわかった、という経験はありませんか？アジ研の公開講座では、第一線の専門家が、長年の研究成果を一般の方を対象にわかりやすく解説します。アジ研ウェブサイトの「イベント・セミナー情報」をチェックして、気になるトピックがあったら参加してみましょう。

●アジ研の公開講座

アジ研では現在、年間60件以上の公開講座を開催しています(2017年度実績は74件)。

毎年恒例となっているものには、『『アジア動向年報』刊行記念専門講座』(6月初旬)、「アジア開発銀行共催特別講演会」(6月頃)、「夏期公開講座」(7～9月、東京・大阪)、「世界銀行・朝日新聞社共催国際シンポジウム」(年度後半)、「九州経済調査協会共催講演会」(福岡、年度後半)、「神田外語大学共催講演会」(千葉、12月頃)などがあります。その他に、タイムリーなトピックや、今後注目を集めそうなテーマ、お客様からの要望の多いテーマ、研究者が長年研究してきたそろそろ世に聞きたいと思うテーマなどをもとに、多彩な講座を企画しています。東京だけでなく、各地のジェトロ事務所・商工会議所からの要請や大学との共催により、さまざまな地域で開催しています。地方・海外の公開講座は、当地のジェトロ事務所のウェブサイトでご案内していますので、地方や海外にお住まいの方はチェックしてみてください。



R・ボールドウィン教授と猪俣哲史上席主任調査研究員
(2018年5月29日、アジア経済研究所成果普及課撮影)

●公開講座に参加するメリット

公開講座に参加する一番のメリットは、何といっても第一線の専門家から直接話を聞くことができ、知的な刺激を受けられることでしょう。専門家の話を聞くと、何かしら発見がありますし、新しい視点に気づかされ、一気に視野が広がったような経験ができることすらあります。また人前で話すことが多い講師の中には、非常にプレゼンテーションスキルに長けている人もいますので、そのスキルを間近で学べるだけでも公開講座に参加するメリットは大きいでしょう。

本号の「アジア研の公開講座報告」では、一つのテーマを軸に、複数の研究者がそれぞれの視点から分析・展望するというスタイルで実施した今年の夏期公開講座の一部を、企画者自身が報告しています。ここではお客様からのコメントを紹介しておきましょう。「それぞれの特色の違いを比較しつつ理解できた」、「中東主要諸国の動向を横断的に考察することができた」、「普段は取り上げられない国の政治制度への理解が進んだ」、「マスメディアを超える統合的な理解に役立った」、「新しい視点、ヒントが得られた」、「多角的な見方で分析され有用だった」、「一国について様々な角度から学ぶことができた」。企画者が目指したことは、おおむね達成できたようでした。

公開講座ではまた、著名な人物に会えるというメリットもあります。アジア研では、機関同士の連携や研究者の人脈を利用して、国内外から著名な専門家を招聘しています。たとえば2018年5月には、世界的に高名なエコノミストのリチャード・ボールドウィン教授（ジュネーブ高等国際開発問題研究所）を招聘して、特別講演会「デジタル化する国際生産ネットワーク：人工知能、オートメーション、ヴァーチャル・ワーカー」を開催しました。旬のテーマを扱ったたいへん興味深い講演でしたが、内容だけでなく、エキサイティングなパフォーマンスや、簡潔かつ精巧に作られたスライドも非常に印象的で、難しい内容を面白く、またとてもわかりやすく伝えてもらうことができました。受講者のコメントを抜粋しますと、「明快なプレゼンテーション、内容も『目からウロコ』で非常にインスパイリングだった」、「もやもやしていた課題の整理につながった」、「近い将来の課題を考える頭の体操になった」などなど、楽しんでくださったことがうかがえます。アジア研では、

今後も世界の著名な専門家を招聘して公開講座を実施する予定ですので、ぜひご参加ください。

●お得なサービス

ところで、アジア研賛助会員の方は、ほとんどの有料講座に無料で参加できることをご存知でしょうか。まず賛助会正会員（法人会員）は、年会費が1口14万円ですが、所属する方は何名でも（！）4000円の受講料が無料になります。大学が正会員になっている場合、夏期講座に関しては、教職員だけでなく学生も無料で受けられるようになりました。

賛助会個人利用会員は、年会費が1万円で、4000円の有料講座に何度でも（！）無料で参加できます。公開講座に年間3回以上参加される方は、その都度受講料を払うより会員になった方が断然お得ですので、ぜひご利用ください。

また正会員・個人利用会員とも、受講料が無料になる他に、図書館の利用、出版物送付（個人利用会員はご希望の1冊）、各種サービスの特典があります。詳細は、ウェブサイトのご案内ページをご覧ください。

2018年度より、ストリーミングによるライブ/オンデマンド配信も試験的に導入を開始しました。一般視聴料4000円のところ、賛助会正会員は2名まで無料、3人目からは3200円（ジェットロメンバーズも同じ）で視聴することができ、今後サービスを拡大していく予定です。

公開講座は開催が決まり次第ウェブサイトにはアップしますので、今後も「イベント・セミナー情報」をお見逃しなく！

（しみず みほ／アジア経済研究所 研究支援部）